

## 小笠原先生の奈良・古代史講座のご案内

主 催 奈良歴史遺産市民ネットワーク

事務局 〒630-8306 奈良市紀寺町 8 8 3 - 4

Tel・fax 0 7 4 2 - 2 3 - 3 9 3 4 小宮みち江

**講 師** 小笠原好彦氏 滋賀大学名誉教授・文化財保存全国協議会代表委員

**講座会場** 奈良県教育会館 開講13時30分(開場13時) (奈良県文化会館西隣 近鉄奈良駅より徒歩5分)

**参加資料代** 500円



**7月9日(火)** 《天平宝字6年の石山寺造営と田上山作所<sup>たなかみさんさくしょ</sup>》

近江保良宮・京への遷都に伴って、石山寺で写経するため、石山寺の大増改築工事がおこなわれました。この造営に必要とした大量の木材は、主として南の田上山に山作所を設けて木材を伐採し、製材して運びました。その田上山作所の作業実態を正倉院文書によって検討してみます。

§ 8月は休講です §

**9月10日(火)** 《古代の政界と百濟王氏<sup>くだらのこにきし</sup>》

古代日本の渡来系氏族の一氏族に、百濟王氏がいます。朝鮮三国の百濟王の一族で、660年、唐・新羅との戦いで滅亡した後も、日本に留まった氏族です。この百濟王一族の日本での活動、大仏造立時での寄与や貢献、8世紀後半に建立した氏寺などを検討してみます。

**10月8日(火)** 《天武天皇の即位と大嘗祭の開始<sup>だいじょうさい</sup>》

古代の天皇の即位には、大嘗祭が伴いました。この大嘗祭を初めておこなったのは、天武天皇です。この大嘗祭を天武天皇がおこなった歴史的な背景を考えてみます。また、大嘗祭に際して設けた大嘗宮の構造に対し、折口信夫説を少し検討してみます。



※ 感染症予防にご協力をおねがいたします

※ 警報が発令された場合、会館は閉館となります。したがって、講座は休講です。

☆☆☆ 事前の申し込みは要りません。どなたでも参加できます ☆☆☆